

令和8年8月10日

報道関係者 各位

(照会先)

全国健康保険協会山形支部
企画総務部企画総務グループ
担当:星野
電話:023-629-7225

山形支部の健診受診率、令和7年度も全国第1位を獲得！

全国健康保険協会(協会けんぽ)では、病気の早期発見を目的に、35歳以上の被保険者の方を対象に「生活習慣病予防健診」を、40歳以上の被扶養者の方を対象に「特定健康診査」を実施しております。このたび令和7年度の健診受診率について取り纏めましたので公表いたします。

● 山形支部における40歳以上75歳未満の加入者の令和7年度実施率

【被保険者】健診受診率: 87.6% (13年連続で全国第1位)

【被扶養者】健診受診率: 44.7% (16年連続で全国第1位)

さらに、被保険者において、健診後の特定保健指導(初回面談)の実施率につきましても、令和7年度全国第1位を獲得しました。

● 山形支部における40歳以上75歳未満の被保険者の令和7年度特定保健指導実施率

【被保険者】初回面談実施率: 52.9% (全国第1位 ※令和6年度 全国第3位)

【被扶養者】初回面談実施率: 26.4% (全国第18位)

直近4年間の被保険者を対象とした健診の受診率(支部別・40歳以上)

《令和4年度》

順位	支部	受診率
1	山形	90.8
2	島根	84.9
3	新潟	83.1
全国		65.2

《令和5年度》

順位	支部	受診率
1	山形	89.8
2	島根	82.8
3	大分	82.3
全国		64.8

《令和6年度》

順位	支部	受診率
1	山形	86.9
2	富山	81.5
3	新潟	80.2
全国		65.5

5.4P
差

《令和7年度》

順位	支部	受診率
1	山形	87.6
2	富山	84.0
3	新潟	82.2
全国		67.6

3.6P
差

直近4年間の被扶養者を対象とした健診の受診率(支部別・40歳以上)

《令和4年度》

順位	支部	受診率
1	山形	42.1
2	山梨	41.6
3	滋賀	39.6
全国		27.7

《令和5年度》

順位	支部	受診率
1	山形	43.4
2	山梨	41.4
3	滋賀	39.4
全国		28.3

《令和6年度》

順位	支部	受診率
1	山形	44.6
2	山梨	41.7
3	滋賀	39.5
全国		29.4

2.9P
差

《令和7年度》

順位	支部	受診率
1	山形	44.7
2	山梨	42.8
3	滋賀	36.7
全国		29.4

1.9P
差

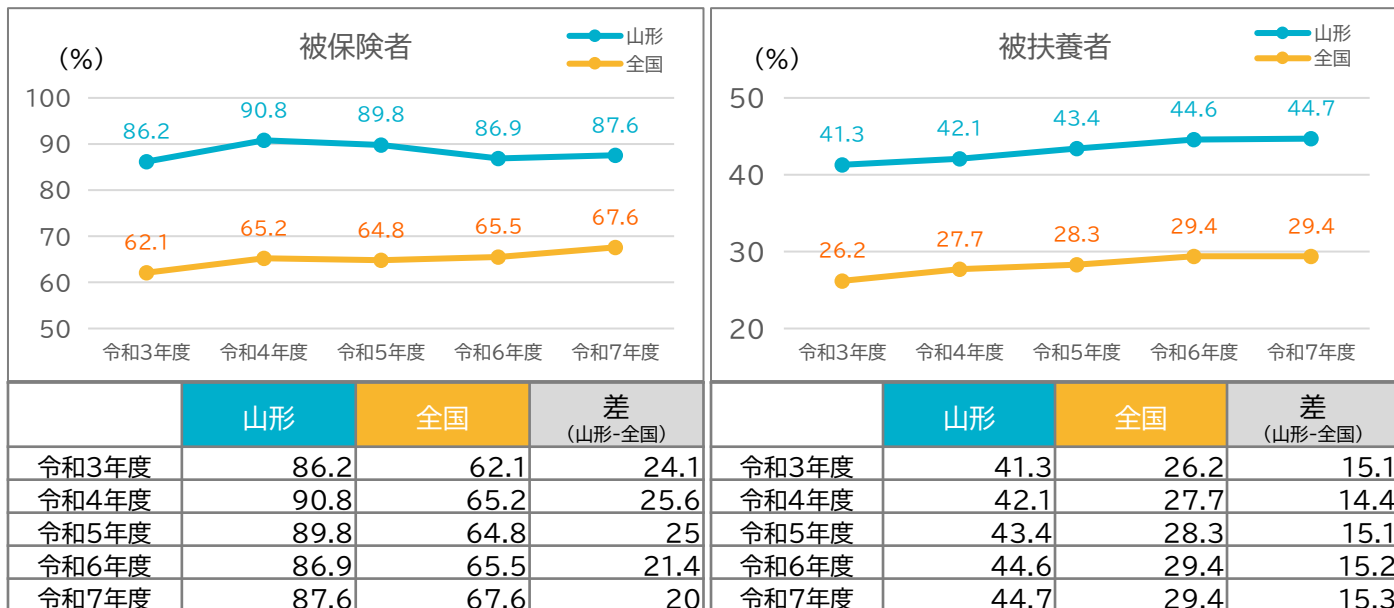
健診受診率の増加傾向は変わらず

山形支部においては、前年に比べて被保険者の受診率が0.7ポイント増、被扶養者の受診率が0.1ポイント増となっており、順位としては変わらず全国トップの健診受診率を示しております。

全国平均についても、被保険者の受診率は2.1ポイント増、被扶養者の受診率は±0ポイントと、被保険者において大きく増加した結果となりました。

山形支部と全国平均の差は、被扶養者においては変わらず推移していますが、被保険者においては徐々に縮まってきています。(図1)

【図1】 山形支部及び全国の健診受診率比較



傾向として、被保険者の健診については、協会けんぽから費用補助が受けられ、がん検診の項目がセットとなっている生活習慣病予防健診の受診率が増加傾向にあり、費用補助が受けられない事業者健診などからの切り替えが進んできていることがうかがえます。

また、被扶養者の健診については、全国的に伸び悩んでおりますが、各自治体と連携した健診や、商業施設におけるオプション付き健診などの継続的な実施が健診受診率の維持につながっているものと推察されます。

被保険者の特定保健指導も増加傾向

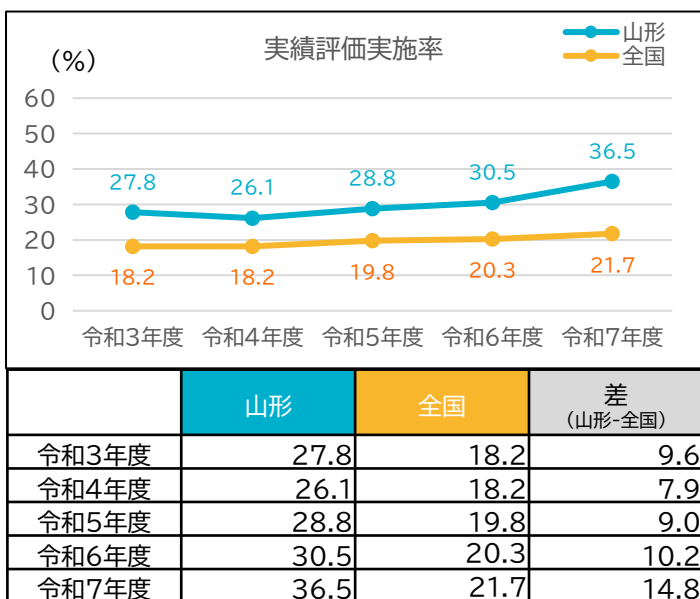
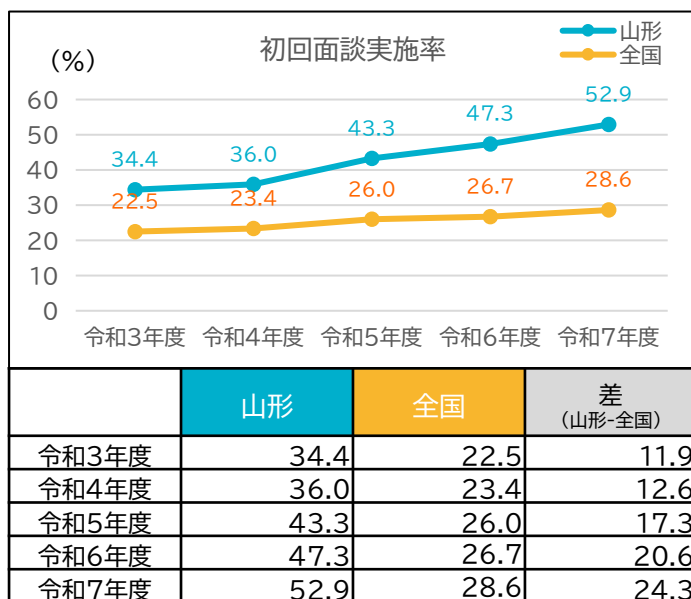
健診を受けただけで終わりとするのではなく、受けた後の行動が大切です。協会けんぽでは、健診結果に基づき、生活習慣病の発症リスクが高い40～74歳の方に対して、保健師や管理栄養士による無料の健康サポート(特定保健指導)を行っています。

山形支部における被保険者の特定保健指導(初回面談)実施率は、前年に比べて5.6ポイント増と、全国平均の1.9ポイント増に比べて大きく増加しました。(図2) 要因として、健診を受けた後、健診機関でそのまま当日面談を実施する人が増えていることが挙げられます。

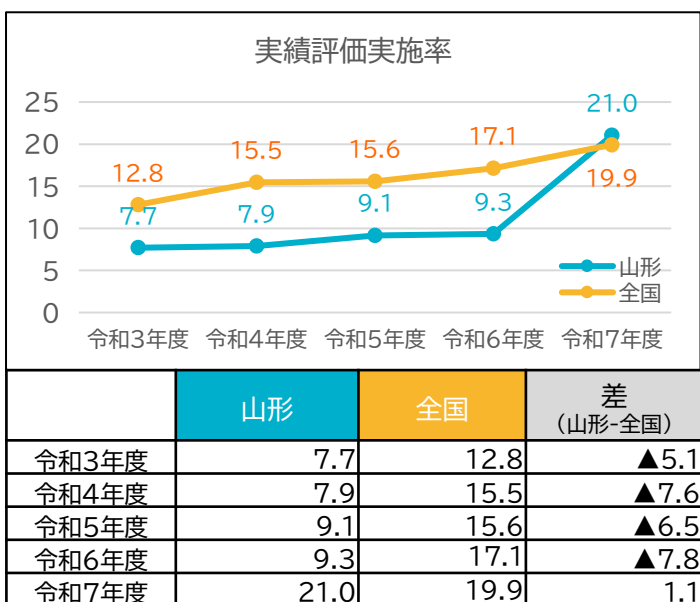
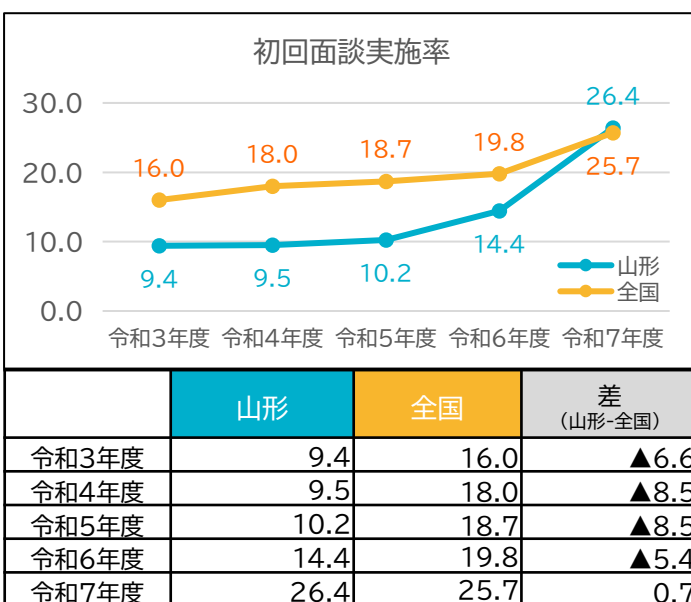
被扶養者においては、令和7年度に全国平均と同程度となったものの、例年全国平均を下回る傾向にあります。(図3) 令和9年度からは被扶養者に対しても被保険者と同様の健診体系にて費用補助が実施できるようになるため、健診受診への働きかけと合わせて特定保健指導の実施もさらに進めてまいります。

また、被保険者・被扶養者ともに初回面談実施率に比べて実績評価実施率が低い傾向にあり、途中で中断してしまう人が一定数いることがうかがえます。最初に面談をして終わりではなく、継続して取り組み、改善につなげていけるよう、加入者のヘルスリテラシーの向上にも努めてまいります。

【図2】 被保険者・山形支部及び全国の特定保健指導実施率の比較



【図3】 被扶養者・山形支部及び全国の特定保健指導実施率の比較



健康を維持していただくために

山形支部では、今後もさらなる受診率向上のために、加入者にとって受診しやすく充実した内容となる取り組みについても推進してまいります。

なお、令和9年度からは被扶養者向けの健診補助を拡大し、これまで被保険者の方のみが対象だった生活習慣病予防健診等を被扶養者の方も受けられるようにするなど、健診体系の充実も行ってまいります。

また、健診受診だけでなく、受診後の行動について(特定保健指導の利用や医療機関への早期受診等)の重要性についても周知・勧奨を推進してまいります。

山形支部の健診受診率や特定保健指導(初回面談)の実施率が全国トップであることについて、ぜひ報道いただき、山形県内の健診受診率・特定保健指導の実施率、改善率のさらなる向上にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

特定保健指導について

健診結果に基づき、生活習慣病の発症リスクが高い40～74歳の方に対して、保健師や管理栄養士による無料の健康サポート(特定保健指導)を行っています。

特定保健指導には、生活習慣病にかかるリスクに応じて「動機付け支援」「積極的支援」の2つのコースがあります。初回面談によるアドバイス後、生活習慣の改善について3～6か月間継続してフォローいたします。特定保健指導は、以下の条件に当てはまる方が対象です。

条件1 (A)男性:腹囲85cm以上 女性:腹囲90cm以上
(B)Aには該当しないが、BMI25以上

条件2 ①血糖:空腹時血糖100/dl以上 または HbA1c 5.6%以上
②脂質:空腹時中性脂肪150mg/dl以上(随時中性脂肪175mg/dl以上)
またはHDLコレステロール40mg/dl未満
③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上
④喫煙:あり(①～③のリスクが1つ以上の場合にのみカウント)

条件1	条件2(①～③)	条件2(④)	40～64歳	65歳～74歳
A	2つ以上該当	－	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	あり		
		なし		
B	3つ該当	－	積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	あり		
		なし		
	1つ該当	－		

動機づけ支援

初回
面談

約3か月後
改善状況を伺います

積極的支援

初回
面談

電話・文書での
サポート

3～6か月後
改善状況を伺います

バックデータ

被保険者を対象とした健診受診率のバックデータ

	対象者数(A)	受診者数(B)	受診率 (B)/(A)
令和3年度	168,880人	145,604人	86.20%
令和4年度	164,348人	149,263人	90.80%
令和5年度	164,909人	148,062人	89.80%
令和6年度	165,790人	144,132人	86.90%
令和7年度	165,986人	145,407人	87.60%

被扶養者を対象とした健診受診率のバックデータ

	対象者数(A)	受診者数(B)	受診率 (B)/(A)
令和3年度	38,552人	15,913人	41.30%
令和4年度	35,479人	14,931人	42.10%
令和5年度	33,676人	14,612人	43.40%
令和6年度	31,375人	13,990人	44.60%
令和7年度	29,231人	13,056人	44.66%